

アプリを活用したバリアフリー情報収集実証 実証参加のご協力をお願い

資料1

国土交通省

実証実験の背景・目的

- 国土交通省では、バリアフリー情報（車いす等で移動する際に障がいとなる段差等や多機能トイレの情報、等）を幅広く収集するため、**バリアフリー情報を、一般の方から投稿頂くモデル**を検討しています。
- モデル検証のため、地域の方が身の回りのバリアを自由に投稿いただく「**アプリを活用したバリアフリー情報収集に関する実証実験**」を実施します。

バリア情報をアプリで記録

ご自身の周りにあるバリアフリー情報をスマホアプリで投稿します。



収集した情報の共有・閲覧

投稿情報は他の利用者に共有されます。投稿された情報から、車いすでも通れる道が分かるようになります。



実証実験の概要

実証実験の概要（お願い事項）

- ✓ 街歩きをしながら、専用アプリを使って既に投稿されている**バリアフリー情報**が**変わっていないか確認（○×でチェック）**していただきます。
- ✓ 現状と異なるバリアフリー情報を見つけたら、新しい情報に修正（更新）していただきます。

地図上では「階段」のはずだけど、新しく「スロープ」が出来たみたい。アプリで“×”をつけて修正しよう！

➤ 実証日時：

- ✓ 2018年12月18日（火）13時～16時
（※荒天の場合、翌日に順延）

➤ 実施場所：

- ✓ 投稿イベント開催場所：JR御茶ノ水駅周辺

➤ 参加対象：

- ✓ **どなたでもご参加いただけます（バリアフリーに関する知識がない方も歓迎）**



➤ **主催**：国土交通省、NTTデータ経営研究所

➤ **実証協力**：千代田区

（参加方法は裏面へ）

実証実験参加方法

- イベントは**12月18日（火）**に御茶ノ水駅周辺での開催を予定しています。（荒天時は翌日に順延）
 - 時間：13時00分～16時00分
 - 集合場所：ハロー貸会議室御茶ノ水 B会議室(JR御茶ノ水駅から徒歩2分)
(東京都千代田区神田駿河台2-1-34 プラザお茶の水ビル 2階)
※実証には、ご自身のお持ちのスマートフォンを利用いたします。

外観



内部



- イベント参加希望者は、右記QRコードまたは下記URLの**参加申し込みフォーム**へアクセスし、必要事項を記入してください。
(<https://goo.gl/forms/juz3SkWpiXjilTKv1>)



※応募者多数の場合は抽選となります。アプリのダウンロード方法は当日の参加される方のみにお知らせいたします。ご了承下さい



※実証実験は、NTTが開発した、車いすやベビーカーで移動される方などへの道案内（ナビゲーション）に必要なバリアフリー情報を収集する技術「MaPiece®」を活用して行います。（※1「MaPiece」はNTTの登録商標です。）

※利用環境：iOS 12 以降に対応（iPhone・iPad アプリの場合）/Android 7以降に対応（Android アプリ）

実証終了後の成果・データの取り扱い

- 実証実験中に投稿いただいたデータは、アプリ利用規約等に従って管理され、データ分析の上、成果として取りまとめいたします。取りまとめた内容は、有識者委員会への報告、国土交通省HPへの掲載等を予定しています。
- また、**投稿いただいたデータは、移動に困っている車いす利用者等が自由に移動できる環境づくりのために、最終的に公開することを予定**しています。

問い合わせ先

- アプリを活用したバリアフリー情報収集に関する実証実験事務局
(NTTデータ経営研究所内) **E-mail:barrier-free2018@keieiken.co.jp**